

# 福祉はやし 2025 第47号

発行 高松市林町329-1 林地区社会福祉協議会



林地区内の桜の名所

## よりそう 林

林地区社会福祉協議会会長

山本 修

令和七年が始まりました。昨年のお正月には能登半島地震が起こり、夏には豪雨の追い打ちがありました。心よりお見舞い申し上げます。復旧・復興に向かっていく状況は、南海トラフ巨大地震を想定している我々にとっても切実な課題を呈していると思います。

現在、林地区では、地区防災計画の策定に取り組んでいます。被災の要の一つは自助・共助の意識を持つことです。災害後でも同じで、日ごろから「地域のつながりを大切にすることが肝心です。本協議会ではそのことを念頭において活動を続けています。高松市共助の基盤づくり事業として九月に「みんなで花いっぱい 林」を開催しました。また、あいにくの天候でしたが、「ハッピーライフはやし」を十一月に行いました。これ以外にも他の団体と協力して様々な行事に取り組み、安心・安全で、笑顔あふれる町づくりのために努力しています。

今年は阪神・淡路大震災から三十年にあたります。報道の中に「よりそう 1・17」がありました。私たちも「よりそう 林」を目指して、林地区の地域福祉に貢献して参ります。本協議会に対するご理解とご協力を今後ともよろしくお願いいたします。

## 林地区民生委員児童委員一覧

令和7年2月1日

氏名	住所	電話番号	担当地区	備考
佐々木 武夫	林町286-2	865-6640	林町(亀の町、ニュー団地、コモンライフ林)	会長
島谷 富士子	林町1168-1	867-8077	林町(天皇東、天皇南の一部、スマートコモンシティ林町、エルブライト林)	副会長
高島 数秀	六条町446	867-9216	六条町(青木、貢、貢西、貢南、南下所、マリオン六条団地)	副会長
大熊 安子	林町2556-11	866-1635	林町(天皇西、天皇北、サントノーレ武番館、エスポワール林)	
太田 多美子	林町791-2	866-0046	林町(宮西、西原東の一部、デザインタウン林、クリアガーデン林町)	
林 貢一	上林町451	889-4720	上林町(本村西中林の一部、東下所、東中林、グリーンビレッジ上林、いこまち上林)	
岩本 富子	六条町242-3	869-1057	六条町(川東、中筋、睦団地)	
佐々木 まり子	林町2545-16	865-3567	林町(さこ西、サーパス林町、サーパスさこ公園)	
美野 みちよ	上林町577-1	889-3431	上林町(西下所)	
野田 米五郎	林町1036	090-3789-5451	林町(天皇南の一部、林町住宅、ウッディータウン林)	
岡 弥生	上林町417-2	889-2503	上林町(本村西中林、ラ・プエルタ上林I)	
牛熊 桂子	林町2033	865-2202	林町(下下所、中央団地)	
外山 強	六条町977-3	865-2351	六条町(下所、下り原)	
藤井 昭次	六条町1286-3	866-6929	六条町(乾南、乾北)	
関 広美	林町2510-16	866-5650	林町(さこ東、サーパス林町第二)	
熊野 武雄	林町1361-1	867-8122	林町(上下所、アイランドコート林町、サントノーレ高松中央)	
眞鍋 典子	林町826-3	867-4789	林町(西原西、西原東の一部、あさぎ)	
山中美 妃子	林町2561-2	887-5787		主任児童委員
富永 真由美	上林町131-3	888-1179		〃

民生委員児童委員は地域住民の身近な相談相手として支援活動に努めております。お困りのことがあればお気軽にご相談ください。

## ご協力ありがとうございました

令和6年度 赤い羽根共同募金 歳末たすけあい運動 日本赤十字社活動資金協力 お礼

令和6年度の赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動、日本赤十字社活動資金につきましては、地域の皆様の多大なるご理解とご協力により、次のようになりました。

赤い羽根共同募金	1,077,461円
歳末たすけあい募金	260,912円
日本赤十字社活動資金	715,000円

地区内の自治会および関係企業からのご厚志に対し、深く感謝申し上げます。



### 集いふれあう文化祭

林地区婦人会

昨年十月に行われた地区文化祭初日のオープニングを婦人会が担当し、吟界第一の吟声、吟力の持ち主と言われる徳田寿風先生をお招きしました。有名な漢詩「川中島」では、解説を交えながら来場者もいっしょに誦い、いつしか会場がひとつになっていました。また、ドラマチックな構成吟「西郷隆盛と西南戦争」も披露していただきました。語り言葉や哀切な響きの歌唱に魅せられ、どなたも吟詠の世界に酔いしれているようでした。



吟詠家 徳田寿風先生

二日目は、婦人会コーナーで手芸のワークショップを行いました。布やガラスに絵を貼る「デコパージュ」は女性に人気で、素敵な小物が出来上がっていました。また、牛乳パックを再利用した「絵合わせキューブ」は子どもたちに大変好評で、終日参加者で賑わっていました。この二日間の活動を通して、文化の薫り高い時間を地域の皆さまとともに過ごすことができました。



牛乳パックで「絵合わせキューブ」作り



「デコパージュ」でかわいくなった小物たち

### 「ヘルスメイト」の活動について

林地区保健委員会

保健委員会の活動の中に食生活の改善があります。林地区では、八名の食生活改善推進員（ヘルスメイト）が中心となり、地域の皆さまの健康づくりを目標に年二回の料理教室を実施しています。今年度は「野菜たっぷり生活講座・使い切り編」をテーマに六月にキャベツ使い切りおかず三品、十一月に大根使い切りレシピ四品を参加者と楽しく調理しました。使い切り料理で食べ切ることにより、しっかりと野菜が摂取でき、食品ロスの削減にもなります。



キャベツ使い切り

また、十月の文化祭ではペットボトルで作った野菜の輪投げコーナーを設けました。食生活の大切さを伝えるために参加賞として「ランチョンマット」を配布し、幅広い年齢層の多くの方に好評を得ました。



大根使い切り



ランチョンマット

### 本校の防災学習

高松市立林小学校 校長 小柳 義仁

昨年は、能登半島を中心とした地震と豪雨災害が発生するとともに、8月には気象庁から南海トラフ臨時情報「巨大地震注意」が発表され、国民全体が防災意識を高めたことと思います。本校においても児童の防災意識を高めるため、避難訓練の他に、様々な形で防災学習を実施しています。

#### 【学年ごとの防災学習】

毎年3学期に、児童の発達段階を考慮して学年ごとにテーマを決めて防災学習を行っています。1・2年生は「もし地震が起きたら」、3年生は「急な天気の変化から身を守ろう」、4年生は「津波について学ぼう」、5年生は「自分でできる防災対策を考えよう」、6年生は「阪神・淡路大震災について学ぼう」です。また、防災学習の中で、「自助・共助・公助」の大切さについても学んでいます。

#### 【地区ごとの防災学習】

本校では、地区別の児童会（地区児童会）を年間2回実施しています。1回目（6月）では、近くに住んでいる児童が集



合し、ゲームをしながら顔なじみになることを目的に行っています。今年度の2回目（1月）には、防災に関連したクイズ（避難所生活に関するクイズ）と防災グッズの作成（紙皿作り）を実施しました。

#### 【5年生の取組・林っ子学習（総合的な学習）】

5年生は、今年度より、上記の防災学習に加えて防災をテーマにした林っ子学習（総合的な学習）を年間65時間かけて実施しています。実際に校区内を歩いて探検し、防災の視点での危険箇所を探り、「具体的にどのような対策が必要か」や「自分たちができることは何か」等について考えました。この学習を進めるにあたり、大学の先生や防災士等の専門家の方々のご協力もいただきました。



### 林地区で豊かな心が育つ子どもたち

高松市林こども園 園長 一宮 邦人

林地区の皆様におかれましては、いつも園児の成長を温かく見守り、また支えてくださっていますこと、心より感謝申し上げます。家庭や地域の方の温もりに支えられながら、230名の子どものたちは「そのらしさ」を一人一人の歩みのスピードでゆつくりとそしてじっくりと実らせています。そのように成長を積み重ねている子どもたちの様子を、少しですがご紹介いたします。

#### 【サンタさんが来てくれたよ！】

待ちに待ったクリスマス会の日！「ほんとにサンタさんが来てくれたらうれしいなあ」と願う子どもたちの思いが通じたのか、当日、赤い服を着た白いおひげのサンタさんがやってきてくれました。とっつもとフレンドリーでユーモラスなサンタさんに、子どもたちは歓声をあげて大喜び！！でも、よく見ると、いつも見守ってくださっている地域の方と笑顔がよく似ている気が…夢にあふれたクリスマス会になりました。



#### 【幼年消防が表彰されました！】

林こども園の子どもたちは、1月にサンメッセ香川で行われている消防出初式に毎年参加したり、避難訓練を月に1〜2回実施したりしています。そのような消防活動が認められ、市内の幼年部門で唯一表彰されることになりました。林こども園に消防署の方が来てくれ表彰式を



#### 【園内外の自然に触れて】

樹木のお医者さんをお呼びして、園庭の樹木の図鑑づくりを楽しみました。樹木の面白さや不思議さに触れながら好奇心を育みました。また、天候のよい日はよく園外保育に出かけます。住宅化された林地区ではありますが、まだまだ自然がたくさんあります。四季を通して園外保育に出かける中で、子どもなりに自然の移ろいや林地区の「財物」をたくさん見つけて楽しんでいきます。



このように、子ども達は林地区の中でたくさん温もりに触れながら健康やかに育っています。これからの地域とのつながりを大切にしながら、地域に根差し地域に愛される林こども園として日々保育をしていきたいと思っています。



# ハッピーライフはやし

いつまでもみんなで楽しく過ごしていきましょう！ 令和6年11月26日（火）

75歳以上の地区在住の方を対象に、バスに乗ってお出かけしています。3回目となる今年度は東の鳴門方面に出かけました。最大の目的は“渦の道”を歩き、鳴門の渦を見ることでしたが、当日はまさかの悪天候。渦の道は朝から閉鎖となったため、急遽、酒蔵見学に変更となりました。

支え地  
事業域  
合い

## ～ 鳴門と阿波三味郷土料理バイキング～



創業200年余り、日本酒「鳴門鯛」で有名な松浦酒造さんを見学しました。

高松に帰り着くまで降り続く雨でしたが、楽しみにしていた昼食のホテルバイキングを堪能し、一番札所靈山寺のお参りもできました。また、見たこともない激しい雨風の風景も振り返ると良き思い出となりました。



たくさん  
食べようね！



楽しみにしていたバイキング！  
窓の外は嵐のように吹き荒れています。



「鳴門鯛」のお酒ができるまでの行程を説明していただきました。



建物の中も見せていただきました。広い座敷では結婚式の披露宴も行われます。



第1番札所「靈山寺」にお参りしました。雨でも参拝者が絶えません。とてもきれいなお寺でした。



友愛  
訪問

昨年末、地域の一人暮らし高齢の方にお菓子の詰め合わせを届けました。皆さん楽しみにされていたようで、とても喜んでいただきました。



地域福祉  
活動事業

# みんなで花いっぱい林 令和6年9月28日（土）

みんなで花いっぱいの素敵なまちにしよう！

今回は、いろいろな種類のプランターに葉ボタンやなでしこなど3種類ほどの花の苗を植えてかわいい寄せ植えを作りました。また、地区内保育施設への寄贈用もみんなで植えました。最後はボランティアさん手作りのおはぎをいただきながら、和やかに茶話会を楽しみました。



大人、子ども合わせて37名が参加しました。寄せ植えの説明を聞きます。



迷うなあ  
プランター選びから楽しくなります。



寄せ植えなので、配置も大切。真剣に植えています。



植えている間に、ボランティアさんが手慣れた様子でおはぎを作ってくれています。



保育施設に届ける寄せ植えも完成しました！



おはぎ、おいしいねえ！

おはぎをいただきながら、話はずみずみ。

## 子育て支援

サンタさん、ありがとう！

なにがはいているの？



わあー！  
サンタさんだー

はじめて見たよ！



コミュニティセンターの子ども向け講座や、昨年12月のイルミネーションのイベントに参加した子どもたちに社会福祉協議会からのプレゼントが届きました。

地域福祉  
活動事業

### 担い手さん募集!

時間に余裕のある方で、ボランティアを始めたい方、高齢者の手助けをしていただける方、お待ちしております!

●ふれあいサービス林事務局：080-2979-5495

#### サービス内容

#### お買い物



ちょっとした日常生活をお手伝いします。

#### ゴミ出し



●利用料金 1回 100円(60分以内)、1か月最大5回まで

#### 草ぬき(敷地内)



#### 室内外清掃



みんなでささえあい あんしんして くらせるために

## ふれあいサービス林

(訪問型サービスB)

住み慣れた林地区で安心して暮らせるよう、林地区住民の方が日常生活のお手伝いをします。

ご利用できる方：

林地区在住の65歳以上の「ひとり暮らしの方」、「高齢者世帯の方」で、

- ①要支援1、2の認定を受けた方
- ②基本チェックリストで事業対象と認定された方

## 敬老会

令和6年9月14日(土)

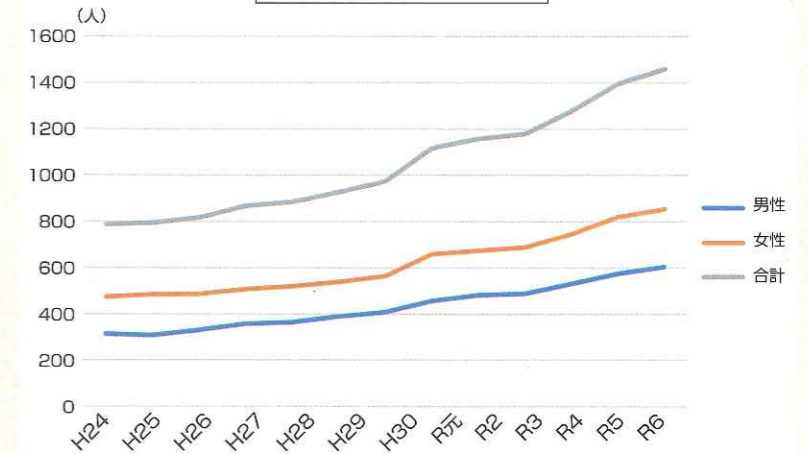
対象者 1,459名 (男性 604名、女性855名)



敬老会の対象となる方は、地区在住の75歳以上の方。団塊の世代が対象になり始めた令和3年頃からは毎年100名近く増加するようになりました。

10年くらい前は約800名でしたが、令和6年度は1,459名の方が敬老の日を迎えられました。まさに人生100年を物語る勢いです。

林地区敬老会対象者数推移



## 元気に楽しく活動中!

林地区 老人クラブ 連合会

林地区老人クラブでは、春の運動会や秋にはバスで紅葉狩りに行くなど、会員同士の親睦と健康増進に努めています。

また、林小学校児童との世代間交流として、野菜作りや昔遊び、餅つき大会を行いました。20年続いた稲作体験が昨年度終了して寂しく思っていたが、餅つきが復活し、子どもたちの喜ぶ顔が見られて、私たちが元気がもらえました!



老人クラブに入会して、みんなで楽しく過ごしましょう!

興味のある方、入会を希望する方はお気軽にお問い合わせください。

会長 宮井和弘 087-889-3446

高松市生活困窮者自立相談支援事業

生活や仕事の悩みごとをお聞きして、自立に向けてのお手伝いをします。

相談 無料

## 自立相談支援センター たかまつ

こんなときは早めに相談しましょう

**健康** 病気で働けない。治療や入院など、今後の生活が心配

**仕事** プランクが長くて、働く自信がない。社会復帰がこわい

**生活** 長い間、引きこもっている子どもは、働く気もお金もない。どうしよう

**家族** 親の介護のために仕事をやめたが、生活費が足りない

総合的な相談窓口です。お気軽にご連絡ください。 TEL 087-802-1081

### 相談・支援の流れ

<b>就労支援</b> ハローワーク等と連携した就労支援のほか、一人ひとりの希望や状況にあった仕事探しをお手伝いします。	<b>就労準備支援</b> 体力をつける、生活リズムを整える等、就労に向けての調整を行います。	<b>生活支援</b> 住宅や家計問題、健康問題等、日常生活の課題を解決するため、関係機関へ同行等を行います。
---	--	--

生活困窮者自立支援法に基づく住居確保給付金についての相談にも対応します。

**お困りの方**

↓

**自立相談支援センターたかまつ**

解決に向けて支援プランの作成、情報提供、各種支援機関や相談窓口への同行等を行います。

①お困りごとについて ②一緒に解決のための糸口を探します。

③公的制度、サービス等の活用や調整により支援をスタートします。

まずはご相談ください。(ご本人以外からの相談も可能です)

相談時間 月～金曜 8:30～17:15 (祝日・年末年始を除く)

〒760-0017 高松市番町二丁目1-1 NTT番町ビル1階 ※駐車場3台分あり